



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

小牧市防災ガイドブック

いつもの生活にちょこっと+防災



日本は、世界でも有数の地震が多い国であり、平成28年に発生した熊本地震をはじめ数々の大震災に見舞われ、甚大な被害を受けてまいりました。

また、台風や豪雨による自然災害や火災など、毎年全国各地で災害が発生しており、本市においても平成12年に発生した東海豪雨により、多大な被害が発生しました。

このような、いつ起こるかわからない災害に対し、市民1人ひとりが正しく理解し、適切な備えを進めることが大切です。

そのため、市民の皆様の防災に対する意識向上、地域防災力の強化を目的として「小牧市防災ガイドブック」を作成しましたので、ご家庭や地域での防災活動にご活用いただければ幸いです。

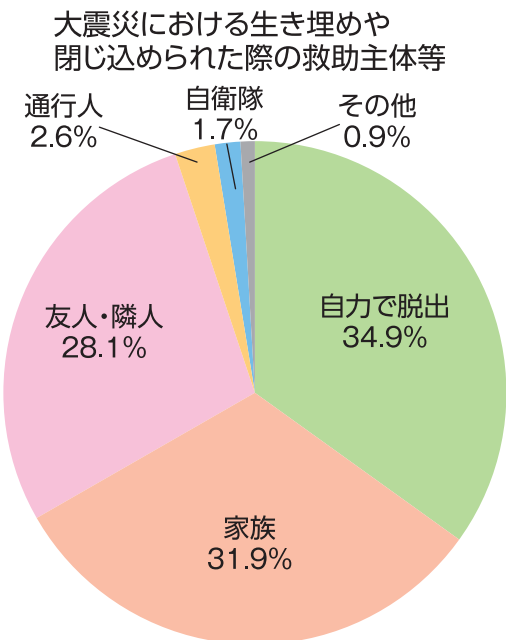
令和3年9月 小牧市長

はじめに

平成23年東日本大震災や平成28年熊本地震などの地震や平成30年7月豪雨（西日本豪雨）など、日本各地で未曾有の災害が発生しています。

平成7年阪神・淡路大震災では生き埋めや閉じ込められた人の7割近くが自力で脱出・もしくは家族に救助され、3割が友人・隣人や通行人に救助された一方、「公助」である救助隊による救出は数パーセントと、「自助」「共助」の重要性が指摘されています。

災害から自分や家族の命を守るために、少しずつ、できることから始めてみませんか？



出典：（社）日本火災学会（1996）
「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より
内閣府作成



防災って大変？～防災力の向上に必要なこと

防災といっても何から始めたらよいかわからないという方もおられるでしょう。防災に取り組む中で一番大切なことは、

- ①防災について一度は考えてイメージする
- ②できることからやってみる

です。

防災をイメージするために、『災害』について知り、災害が発生したときに想定される「小牧市の状況」を知ることが大切です。

そのため、本ガイドブックでは、災害毎に、

- ①「災害」を知る
- ②「まち」を知る～小牧市の想定結果
- ③イメージする～災害時にどんなことが起きるのか～
- ④対策する

をご紹介します。

まずは、できることから少しずつ取り組んでみてください。

小牧市で想定される災害

地震 	南海トラフ地震（東海地震、東南海地震、南海地震）、明治24年に発生した濃尾地震の再来が想定されています。濃尾地震では、最大震度が6強と想定されています。	①「災害」を知る	4・5ページ
		②「まち」を知る	6・7ページ
		③イメージする	8・9ページ
		④対策する	10～13ページ
風水害 	台風をはじめ、梅雨前線や秋雨前線などによる河川の氾濫や洪水、局地的大雨による急な冠水や浸水が想定されています。	①「災害」を知る	14～19ページ
		②「まち」を知る	20ページ
		③イメージする	21ページ
		④対策する	22～24ページ

その他の災害

- ため池の決壊9ページ
- 津波災害9ページ
- 原子力災害 小牧市は、最寄りの敦賀発電所でも90km以上離れており、原子力災害の危険性は低い地域ですが、万が一に備え、正しい知識を得るようにしましょう。
- 武力攻撃・テロ いざというときどうするかを知っておきましょう。また、本ガイドブックで紹介する非常用持出品や備蓄品も準備しておく役立ちます。

色々な災害に共通すること

- 災害が起きそうなときどうやって情報を入手したらよいの？25ページ
- 知っておきたい避難のこと26～34ページ
- 地域の防災活動に参加しましょう35ページ
- 避難所へのルートや近所の様子を再確認しましょう36～41ページ
- 我が家の防災電話帳裏表紙